

第17回 第6分科会会議録(概要)		場 所	新宿清掃事務所 会議室
日 時	平成18年4月1日(土) 午後1時00分~午後3時00分	記録者	【学生補助員】 佐々木万梨恵、永井祐介
		責任者	区事務局(荒井)
<p>会議出席者：34名 傍聴者1名 (区民委員：28名 学識委員：3名 区職員：3名)</p>			
<p>配布資料 議事次第 第16回第6分科会会議録(概要) 地区協議会と新宿区民会議との意見交換会 ~「協働・参画・コミュニティ」についての報告~ 第一回編集部会まとめ 第6分科会第15回運営委員会記録(概要)</p> <p>議題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 運営委員会などの報告</li> <li>3 提言の体系(テーマ)の検討</li> <li>4 班ごとのテーマ検討</li> <li>5 その他</li> <li>6 閉会</li> </ol> <p>会議内容</p> <p>【発言者】 : 区民委員、 : 学識委員、 : 区職員</p> <p>1. 開会</p> <p>: これより第17回第6分科会会議を開催します。本日の進行役を務めます2班の河村です。はじめに配布資料をご確認ください。議事次第に沿いまして、まず高野リーダーから運営委員会等の報告をさせていただきます。その後、「提言の体系(テーマの設定)」について、各班でざっと検討し、まとめは運営委員に託して頂きます。その後、班討議としまして「協働・参画」、「自治制度」、「コミュニティ」について、各班で検討して頂き、大体3時くらいまでで終了としたいと思います。</p> <p>: 進行役の尾上です。本日はよろしくお願ひ致します。先ほど河村委員からお話戴きましたように運営委員会と世話人会の編集部会のご報告と、提言の体系を説明しているものがございます。こちらは後ほど意見交換及び班ごとの検討で各自のご意見を戴きたいと思っておりますが、説明を高野リーダーに今後のスケジュールも含めてお願ひします。</p> <p>: お手元に3月25日の地区協議会と区民会議との意見交換会の入江委員のレポートが</p>			

あると思います。当日は出席者が45人、区民会議からは16人の参加があり、「環境まち美化」「子育てと多世代交流」「安全安心」「協働・参画・コミュニティ」「まちづくり」「高齢者」という6つのテーマに分けて話し合いました。「協働・参画・コミュニティ」が入江委員に書いてもらったレポートです。かなり皆さん突っ込んだ話や要望、不満などの話もありました。交流の中で結構、話し合いができたと考えています。

次に、「第一回編集部会まとめ」という資料をご覧ください。世話人会から各分科会リーダーと学識委員1名ずつによる「編集部会」を作りました。第6分科会の私が部長に、学識委員の責任者には第3分科会の方が就きました。そして、私たちがずっとやってきた体系作り、「大項目・中項目・小項目」というテーマ作りの設定の仕方を皆で協力して決めていくことになりました。

今まで6分科会では、テーマごとに勉強や意見の交換、意見の集約、全体での調整をしてきました。他分科会はテーマごとでなく、一つのことを分科会全体でやらないで、テーマをもとに、例えば車、道、建物、緑、公園という具合に分散してしまった部分があるので、検討分野としてやってきたものをもう一回整理、検討、集約する。それから私たちがやってきた研究テーマとして一つに作っていく。最終的に皆の集約したものを一つに起草にするまでの調整テーマ、ということで私たちは、今までやってきました。この流れを、1から6分科会の考え方として統一していこうということになりました。

そういうことで「大項目・中項目・小項目」という形で理解を得たという状況です。それに伴い、4月7日にテーマに対しての切り口、キーワードを確認して提出することになり、3月30日に臨時運営委員会を開きました。この流れにつきましては、運営委員会資料にあります。今、説明したような形で確定ではないですが、とりあえずテーマを書いたものを皆で寄り添って決めましょうと、「区民会議の提言構成検討のためのテーマ設定」を運営委員会で考え作りました。

「安全安心で快適なみどりのあるまち」ということで、ここは現在の「大項目・中項目」の中に入っている内容です。ただし、この部分の「安全安心なまちをつくる」とかはあえて明確にして、第6分科会としては、この下の小項目として「災害に強いまち」とかハード面、ソフト面、防犯のハード面、ソフト面、また「その他の安全安心なまちづくり」という形で提案していったらいいのではないかと。また、「快適な生活環境をつくる」というのが一つあります。それと新しく、今まで多文化共生のような外国人とどう付き合うかは明確でなかったため、あえて新しい章を作って、「外国人と共生する豊かなまちづくり(多文化共生)」ということで、国際理解の項目は残しますが、二つの中項目を作って、そこに2つずつ小項目として整理しました。

第六章には「構想の推進のために」とありますが、あくまでも第6分科会の叩きとして出しますので、これを1から6の分科会ですり合わせしながら、どこにあてはめていくかの作業をするので、まだ確定ではないのですが、一応こういう流れでしますということでご理解頂ければと思います。

：こんにちは、入江です。3月15日に「地区協議会と新宿区民会議との意見交換会」

に参加してきました。私は「協働・参画・コミュニティ」について一緒に話し合う班に入りました。出席者は6名で、四谷地区協議会の方が3名、戸塚地区協議会の方が1名、私ども第6分科会からは2名ということでしたが、四谷地区協議会の方も戸塚地区協議会の方も全員ではありませんが、区民会議委員の方が多かったので、地区協議会对区民会議という形ではなくて、色々な話し合いや活動に参加する中で協働、コミュニティをどう捉えているかということから、懇談のような形で進みました。問題点や今後に向けての視点ということが出ましたのでまとめました。一つその場で明確にしておきたかったことは、区民会議の役割としては、概念整理をして将来に向けての方向性を考えていく場ではないか。それに対して地区協議会は実際に、日常の課題を地域の中で問題としてあげていって、それを一緒に解決していこうという場ではないか。そういう区民会議と地区協議会の意義はそこでも確認しあいました。それから、協働というものに持っているイメージがアウトソーシングではないかという声も出ましたが、もっと積極的な意味合いを持たせることが必要だという話し合いもありましたし、コミュニティというものも町会を大事にしながらも、いろいろな角度から入ってくることによりいろいろな人が関わってくるのが大事ではないかという話し合いができました。今後の地区協議会、区民会議の話し合いにこういう話も反映できたらと思いますので、そういう形で今回の会議を終えました。以上で報告を終わります。

：私（高野）は「安全・安心」のテーマに参加しました。そして、「中間発表のときに何で防犯の話がないのか」と囁かれました。今まで防災の話は、基本計画でも明確に出ています。しかし、防犯が出ていないのは事実で、最終的には地域でやらなければならないことなのに、こういう交流の場が少ないことはおかしい、また何をやっているかわからない。いかにして皆に知らしめるかということをやったって欲しいと言われました。外国人に対しては何をやっているという話もありましたが、しんじゅく多文化共生プラザに会議前に行き、やるべきことはやっていることを確認してきました。駆け込み寺もちゃんとありますが、外国人の方が本当にプラザを知っているかどうかポイントになるかと思いました。以上です。

：ありがとうございました。それでは、班ごとのディスカッションに入る前に、4月7日の編集部会に提出予定の「区民会議の提言構成検討のためのテーマ設定」についてご意見、質問なども含めて頂けたらと思います。今まで高野リーダーの説明と重複する点もあるかと思いますが、今までディスカッションを含めてまとめた「地域安全」と「多文化共生」ですが、「地域安全」の部分が第三章の大項目が「1.安全安心なまち」そして中項目として1・2・3・4・5ということで、変更を提言しています。こちらについては、ご理解いただけたとしてよろしいでしょうか。多文化共生の方については、新章を設けまして、「外国人と共生する豊かなまちづくり」とし、新たに重要度の高いところに持ってきました。皆さんご存知のように、外国人の部分というのは今まで「多文化共生」とはっきり明言して出てきておりませんでしたし、国際理解の中に埋もれていたものを大きくクローズアップしたという変更になります。こちら辺で何かご意見など

ありますでしょうか。

：決定案をどなたが作られたか分かりませんが、多文化共生云々という言葉は今までに出ていて、前は気兼ねしたのか、括弧になっていました。地域社会における外国人との「共生」や「居住」という言葉が盛んに使われます。いい言葉なのですが、地域社会の実情は、こういう方向には程遠い実情があります。中間報告の際、グループ内で私は、まちづくりではなく、まち壊れではないかと申し上げました。外国人と関わっている意味で多文化共生ではなく、多文化摩擦が起こっているのではないかと。また、実情は地域に違いがあります。原住民のことから言うと、巷に外国人が溢れるといった不満などがあると思う。一言で言いますと「外国人と共生する豊かなまちづくり」は言葉としては分かるけれど、ちょっと持ち上げ過ぎてはないかと思えます。多文化共生という言葉は使わないほうがいいと思います。同じように「居住」もそうです。居住とは外国人登録をしている外国人のみを想定してしまう。しかし、新宿区はいろいろな雑多な外国人がいるわけです、住んでいることだけではなくて。だから地域社会は外国人が増えていることによって整備しにくくなっている、そのことを詳らかに審議してもらいたいという気持ちがございます。私はそういう方面の専門家でありますからね、それから外国人の人権尊重は何故わざわざ言わなければならないのか。外国人問題に気兼ねしすぎて、持ち上げすぎではないか。もっと淡々とやられればいい。

：ご意見ありがとうございました。次のディスカッションの時間になりました。残念ながらおひとりの意見しか戴けなかったのですが、本日の運営委員会で引き続き、詰めさせていただきますので、皆さんの意見は各班の運営委員に伝えてくださればと思います。運営委員会で改めてご意見を反映したものを詰められようように努力したいと思います。

それでは運営委員を中心にして、ディスカッションをスタートしてください。4月15日にフォーマットを多文化共生、地域、安全で出していただいたようなフォーマットで、事務局に提出していただくことになっていきますので、よろしくお願いします。

#### 4. 班ごとのテーマ検討

～省略～

#### 5. その他

：事務局から連絡です。前回の報告なのですが、長期欠席者の扱いにつきまして、7名が辞任することになりました。現在の登録者数が64名で、1回も見えていない方も12名ほどいます。次回会議は4月15日13時から16時となっています。15日に提出いただく報告は、集約した形でフィードバックしていきます。そして4月22日にどうだったかを合意形成を図りたいと思います。また慌しくなってきますことをご了承ください。

：事務局の担当の部類ではないかもしれませんが、「事務連絡18年3月23日付け各分科会リーダー様」へという書類がありますね。今日配られましたが、詳しい説明がありません。今まで我が第6分科会は民主的な組織も立ち上げ、非常に参加者の意見が事細かに尊重されてきました。第3分科会は何の権限があって、全体的な問題についてよその

分科会にこういうことができるのか、非常におかしいと思います。これについては高野リーダーにしっかりしてほしいと思います。

：この書類についてですが、中間発表以降に各分科会の中で意見調整をやっていきましよう、皆さんの班にも前回各分科会に対して地域安全、多文化共生に関連するものが何かをお調べ頂きました。それについては今、高野リーダーと副リーダーで調整して頂いている段階です。その後、各分科会に質問を出すことを考えています。こうした動きを世話人会で話していくなかで、第3分科会の方で出てきた経緯なのですが、自分の所に意見が頂きたいという発想をされ、第3分科会は「こういう意見があるので、皆さん興味があればご意見を言ってください」とセッティングしたという流れが実情です。詳細は、リーダーからお話があるかと思いますが、事務局ではそう認識しています。

：すみません、最後にお話をするつもりでしたと言いつつ致します。第3分科会は全体を見るハードの部分を負担し、第6分科会は全体的な仕組みを考えていると捉えています。まず第6分科会は意見交換会していくのは実情、無理であろうため質問状を出したいとなりました。第3分科会は自分たちがくくったテーマで「皆さんご都合いかがでしょうか。お集まり頂けるでしょうか。」と、私はラブレターやお願い書のような形でとらえています。皆の意見をまとめて質問状を書きますので、これはどなたか参加していいですよ、と曖昧な説明をするつもりはありません。言葉は足りませんが、そんな流れで考えています。

：第3分科会が区民会議全体的な問題を発言するのは、いわば中央政府のやることです。全体の組織に対して運営しかねません。誰かが中心となってやるのは、皆の意志があってやるならいいのですが、このやり方は非常に危険だと思います。

：別に第3分科会の肩を持つわけではないのですが、ここの内容はたたき台として出ていますよね。どういうふうに進めていくかについては全体で決めていないわけですから、第6分科会は質問状という形をとっています。それから第3分科会は日程を提示して他分科会に対して「意見を聞く場を設けたいので、第6分科会の皆さんにご協力頂けないか」という形で、こうした書面を出していると認識しています。ですから、私は第3分科会が各分科会のリーダーシップをとって進める訳ではないと理解していますが、いかがでしょうか。

：他の分科会の資料を出したのは今回が初めてで、突出していることもあります。結局、私たちがみたいに1つのテーマについてじっくり意見を交換して、意見集約してまとめていく分科会は他にないのです。その形を運良く、我々がやってきた、要するに体系図で作っていきという流れに、各分科会がなびいて頂いた。ここの第3分科会は9つのテーマを9つの班について、全部が違ったテーマでやってきています。だから今更ながら4月4日に会議を開いて、今まで9つでやっていたのを、1回で話してまとめていく作業をしていますから、かなりハードだと考えてあげないといけません。そういう流れの分科会はあるし、既にいつでも提言が書ける分科会もあります。温度差はありますが、やっとフォーマットが出来てきたとご理解していただければいいのですが。

：私がこうした意見を言ったことを記録にとどめていただければと思います。

：分かりました。

：というのは、全体が非常にゴチャゴチャになってしまうのでは、という意味ですよ。

：そうですね、いかに分かれなような形で努力します。

：よろしくお願いします。

：恐らくこれは高野リーダーが編集部会でこういう提案を持っていきたい時期なのですね。みんなまとまってきているから、他の分科会は何をやっているのかと意見を聞きたいなと思っている時期。この時期はとても危険なのです。自分たちの 80%としっかりとした土台の上に立っていないとき、全体を見てしまうと立ち返る時期がない。時期尚早のため、自分たちのテーマをもう一度かためていく段階が今だと思います。もう少し検討していただいたほうがいいと思います。

：参考にさせていただきます。ありがとうございました。

## 6.閉会

：ではお約束のお時間になりましたので、他にも意見がございましたら運営委員に委ねて頂きまして、この後の運営委員会にかけたいと思います。ではこの度はお忙しい中、ありがとうございました。次回のスケジュールですが、4月15日会場はこちらになりますので、お気をつけください。4月はもう1つありまして、次週22日時間は13時から16時、会場はこちらになります。それでは、解散とさせて頂きます。ありがとうございました。

### 次回日程

#### ・次回会議

4月15日(土) 午後1時から4時 会場：新宿清掃事務所